

北海道高等学校学力向上推進事業

教科指導セミナー報告

道南ブロック
国語科

平成26年12月24日
(主管教育局 日高教育局)

平成26年10月10日(金)、北海道浦河高等学校を会場として、道南ブロック・国語の教科指導セミナーを開催しました。道南ブロック(胆振・日高・渡島・檜山の各管内)の高校から12名の参加があり、授業実践スペシャリストによるワークショップ(実践発表)、研究協議が行われました。本セミナーの実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考としてご活用ください。

教科指導セミナーの概要

テーマ「思考力・判断力・表現力を育む授業の在り方」

本セミナーの概要

『実践紹介1』

北海道登別青嶺高等学校 大屋敷 全 教諭

■内容「言語活動を意識した現代文指導の工夫」

『実践紹介2』

北海道松前高等学校 島田 亮 教諭

■内容「文学的教材を用いた思考力・判断力・表現力を育成するための指導の工夫」



『ワークショップ』

1年次に履修する「国語総合」の「読むこと」の単元における、言語活動を取り入れた任意の1時間の学習指導案をグループで作成した後、グループ毎に検証し、その後、参加者全体で検証結果を共有しました。

グループに分かれて指導案づくりを行うことにより、他校の先生方との交流を深める機会にもなりました。



本セミナー実施により期待される成果

- 実践的な「教科指導力」の向上、参加者への授業方法の紹介
- 各学校における授業改善の視点の拡大
- 確かな学力を育む高校教育推進事業における研究の充実

教科指導セミナーの実施状況

『実践紹介 1』



【大屋敷教諭の発表】

大屋敷先生の発表は、「一方的な講義形式の授業から脱却し、授業の中で『考えて書く』機会をできるだけ多く設定したい」という思いから始まった実践についてでした。この思いを具体化した数多くの実践を紹介していただきました。
「悩みを聞き、答える力を高めよう」をテーマとした「考えて書く」教材の開発や現代文でリスニングテストを取り入れた事例等、言語活動を充実させる実践についての発表でした。

『実践紹介 2』

北海道高等学校学力等実態調査の結果等を踏まえ、書く能力の育成に向けた指導として、文芸作品のキャッチコピーを考えたり、作品に対する意見文を書かせる実践等を紹介していただきました。
短歌や詩のキャッチコピーや小説の意見文作成等、文芸作品を教材として、論理的な思考力・判断力・表現力を育成することを意図した実践についての発表でした。



【島田教諭の発表】

『ワークショップ』



【グループ討議の様子】

授業の目標や、目標を達成するのにふさわしい言語活動及び評価の方法等について盛り込んだ学習指導案を考え、検証を行いました。
教材は「児のそら寝」とし、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう力を付けさせる指導の工夫などについて、参加者の活発な議論が行われました。

教科指導セミナー参加者の声

参加者の声

- 今日学んだ新しい手法や指導方法を自校に戻って実践したいと思います。
- 有意義な実践報告、また実用的なワークショップでした。「児のそら寝」はちょうど今、指導しているところです。今日学んだことを、学校でも役立てていきたいです。
- 言語活動の在り方について、見直す良い機会を得られました。
- 発表者の先生の考えが今の自分の悩みの解決のヒントとなりました。これからの授業に役立てていきたいです。
- 国語の教員が一人であり、管内の他校と交流も少ない。こうした研修にまた参加したい。

参加者アンケートの結果（一部）

- 紹介した教材や指導方法は活用できますか。
 - ・大いに活用できる 58.3%
 - ・活用できる 41.7%
- 教材や指導方法の理解は深まりましたか。
 - ・大いに深まった 58.3%
 - ・深まった 41.7%
- セミナーは授業実践力の向上に役立ちましたか。
 - ・大いに役立つ 58.3%
 - ・役立つ 41.7%
- セミナーは本道の高校生の学力向上のための教科指導力の向上に役立ちましたか。
 - ・大いに役立つ 41.7%
 - ・役立つ 58.3%

今回のこの報告は、次のWebページに掲載しております。

<日高教育局WebページURL>

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hdk/>